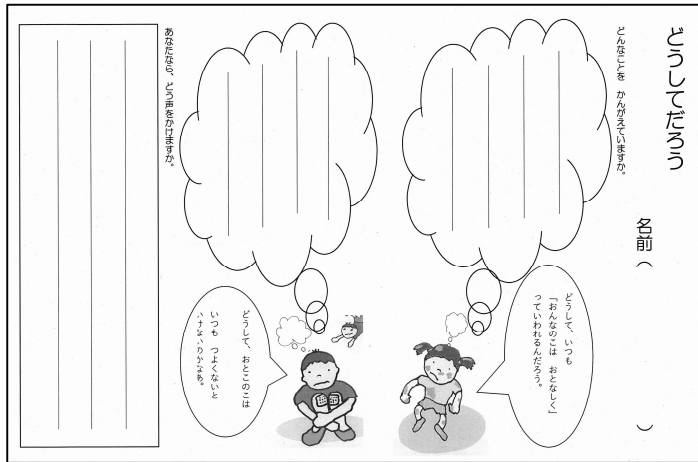


[別紙⑩]

ワークシート



授業の様子



板書



感想

- 自分で考えればいいと思いました。あなたはあなた、きみはきみ、みんなそれぞれの力があるからいいと思いました。きまりはないと思いました。
- 男の子・女の子はかんけいなくて、男の子のものも女の子のものも使っていいと思います。友だちが遊んでいたものが使いたいときは「かして」と言ったらいい。「かして」と言ったらかしてくれると思います。
- それぞれでいいんだと思います。男の子だからって強くなくていいし、女の子だからっておとなしくなくていいと思います。

成果・課題

- すべての児童が、登場人物の男の子や女の子の気持ちを考えて、他の児童に一生懸命に伝えようとしていた。性別で決めつけることの不合理に気づいていた。終末に、授業の始めに提示したアンケートにもどって、「男の子」「女の子」というくくりを外し、ICTを使って考えをシャッフルして見せたのは、効果があったと思う。
- 子どもたちは、一生懸命考えていた。ただ、終末はきれいに流れすぎてしまった。もう少し深める必要があったと思う。出てきた意見（本音とたて前）は、自分の中ではイメージ通りであった。その後で、どのように崩していくかが課題だと感じている。